

2021年10月期第1四半期  
( 2 0 / 1 1 ~ 2 1 / 1 )  
決算短信説明資料



萩原工業株式会社

(東証一部：7856)

ハミダセ、アミダセ

# 目 次

決算ハイライト	-3
<b>I. 2021年第1四半期 決算業績と主要事項</b>	
業績（サマリー）	-4
売上分析（連結）	-5
営業利益分析（連結）	-6
セグメント・子会社概況	-7
B／S（連結）	-8
たな卸資産・売上債権の 回転日数（連結）	-9
業績一覧（連結）	-10
業績予想（連結）	-11
SDGs関連製品売上高（連結）	-12
SDGs関連製品 トピック	-13～16 -17
<b>II. 補足資料</b>	-18～19

# 決算ハイライト

## 1. 業績面

- ・ 合成樹脂加工製品事業は、粘着テープ原反等一部製品が堅調であったものの、建設関連・物流関連需要が弱く、シート、バルチップ、フレキシブルコンテナバッグ等が低調で、減収減益。
- ・ 機械製品事業は、特殊紙用大型スリッター分野や押出関連機器が順調であるものの、フィルムスリッター等が低調で減収。収益面では高付加価値物件の売上があったため増益。
- ・ 以上により、全体では減収減益となりました。

## 2. 将来への取り組み

- ・ SDGs達成に向けた取り組みとして、ブルーシートのリサイクルに着手。（P17参照）

# I-1 業績（サマリー）

ハミダセ、アマダセ。



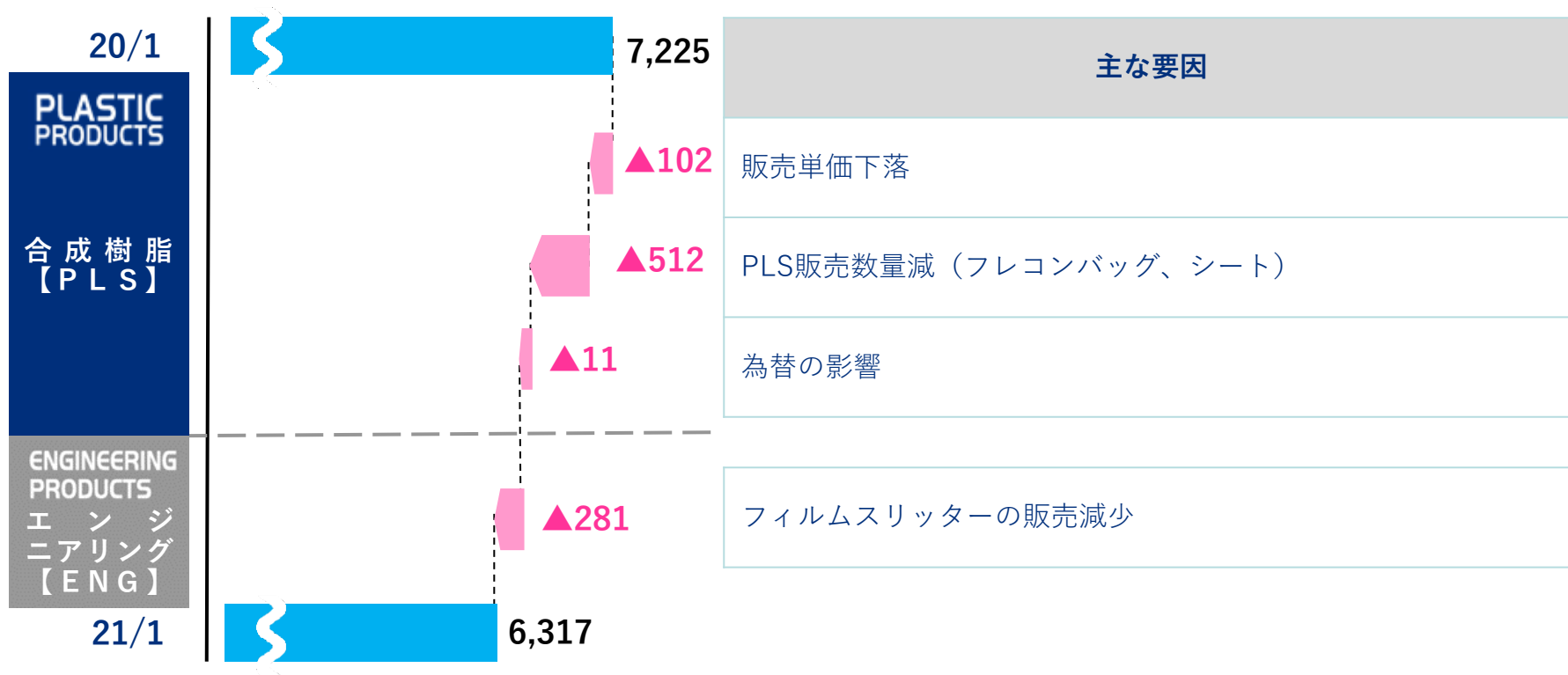
(単位：百万円)

## ■前期比増減概要

	20/10期 第1四半期	21/10期 第1四半期 実績	前年同期比較		
			増	減	伸び率(%)
売上高	7,225	<b>6,317</b>	▲907	▲12.6	
営業利益	725	<b>649</b>	▲76	▲10.5	
親会社株主に帰属する 当期純利益	625	<b>470</b>	▲154	▲24.7	

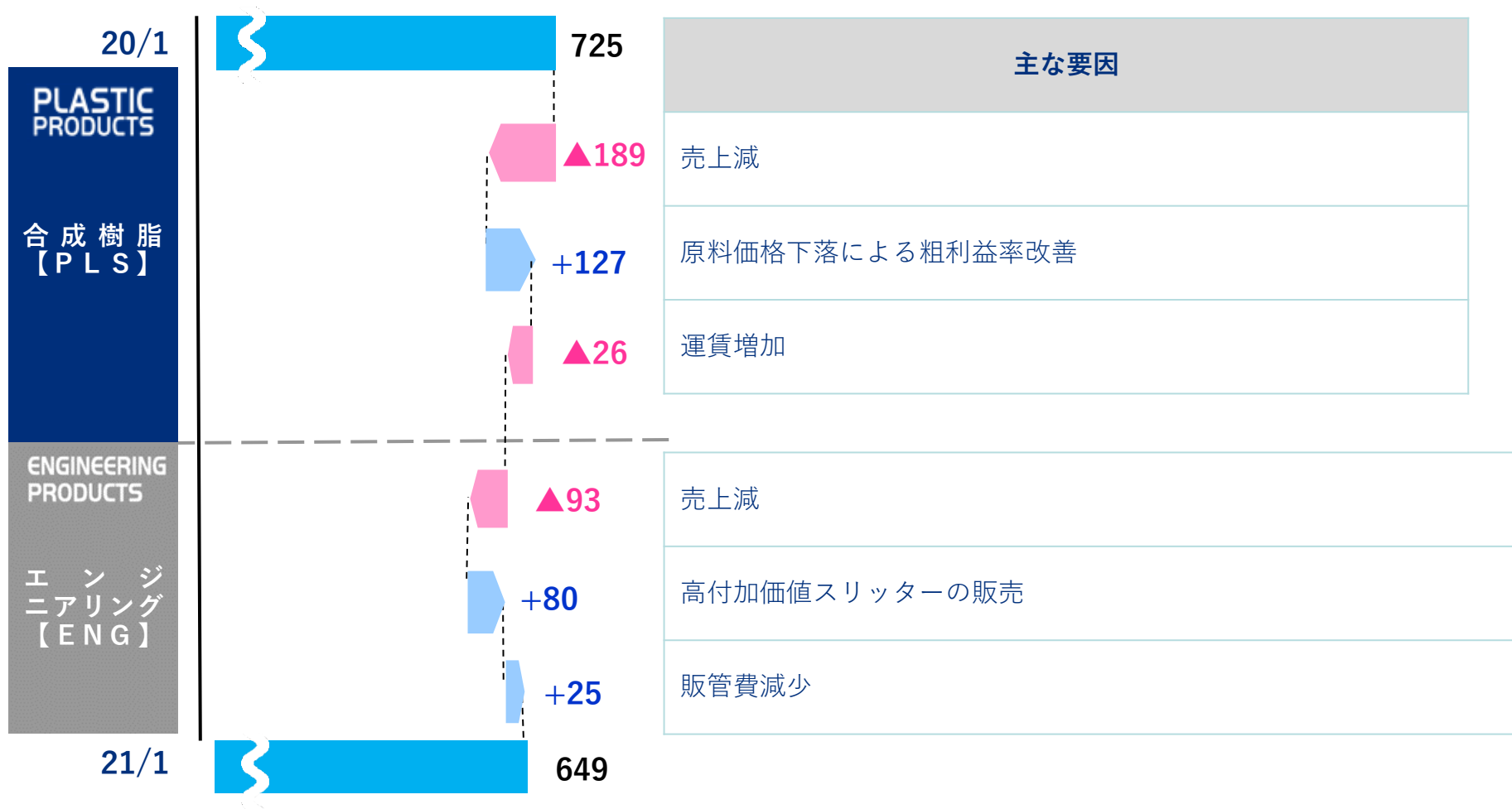
# 1-2 売上分析（連結）

(単位：百万円)



# I-3 営業利益分析（連結）

(単位：百万円)



主な要因	
売上減	
原料価格下落による粗利益率改善	
運賃増加	

売上減	
高付加価値スリッターの販売	
販管費減少	

# 1-4 セグメント・子会社概況

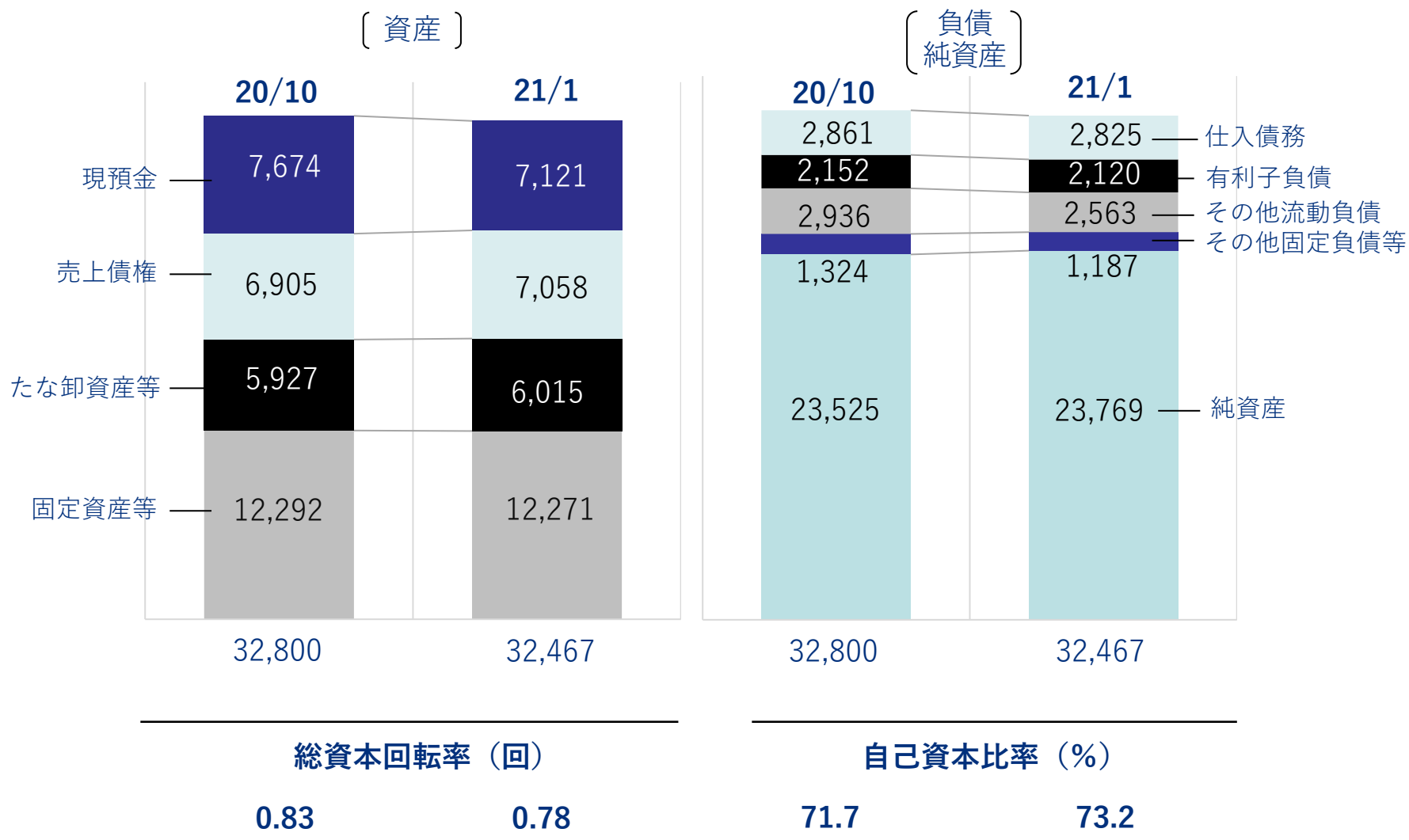
(単位：百万円)

		売上高		営業利益		純資産		総資産		設立	社員数(※)
		20/1	21/1	20/1	21/1	20/10	21/1	20/10	21/1		
萩原工業	合成樹脂事業	3,991	3,558	447	327	—	—	—	—	—	—
	エンジニアリング事業	1,469	1,199	195	191	—	—	—	—	—	—
単体		5,460	4,757	642	519	23,024	23,187	28,066	27,673	1962年11月	471名
日本ファブウエルド		112	94	12	▲1	205	205	322	320	1967年7月	33名
ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社		957	728	38	▲13	1,255	1,220	2,640	2,610	1995年3月	644名
青島 萩原工業 有限公司		142	148	0	10	767	788	804	820	2002年12月	79名
EPCホールディングス社		692	623	76	62	1,276	1,279	1,933	1,948	2007年9月	39名
東洋平成ポリマー		1,110	1,036	51	50	2,125	2,161	5,098	5,173	1943年7月	167名
萩華機械技術(上海) 有限公司		186	110	8	▲3	239	238	344	319	2005年1月	37名
連結		7,225	6,317	725	649	23,525	23,769	32,800	32,467		

(※)社員数は、萩原工業は2020/10末時点、その他は2020/9末時点

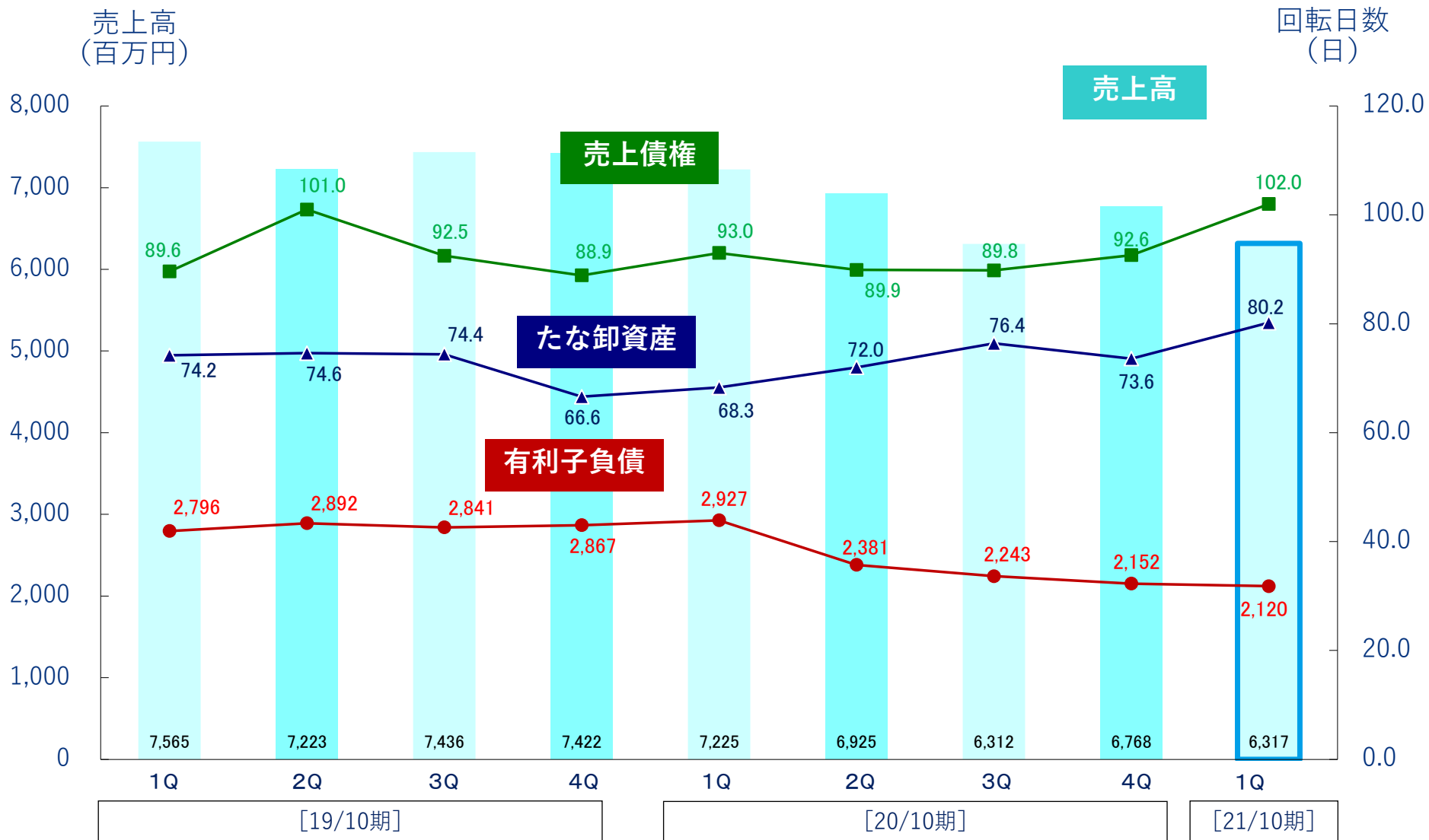
# I -5 B / S (連結)

(単位：百万円)





# I-6 たな卸資産・売上債権の回転日数（連結）



# I-7 業績一覧 (連結)

 (単位：百万円)  
 前年同期比較

	21/1期		前年同期比較		21/1期	前年同期比較	
	実績	売上高比	増	減		実績	増
売上高	<b>6,317</b>	100.0%	<b>▲</b>	<b>907</b>	総資産当期純利益率 ( R O A )	<b>5.8%</b>	<b>▲</b> 1.9%
売上総利益	<b>2,046</b>	32.4%	<b>▲</b>	<b>75</b>	自己資本当期純利益率 ( R O E )	<b>8.0%</b>	<b>▲</b> 3.1%
営業利益	<b>649</b>	10.3%	<b>▲</b>	<b>76</b>	売上高対 総資本回転率	<b>0.78回</b>	<b>▲</b> 0.11回
経常利益(※)	<b>680</b>	10.8%	<b>▲</b>	<b>250</b>	自己資本比率	<b>73.2%</b>	<b>3.2%</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>470</b>	7.5%	<b>▲</b>	<b>154</b>	フリー キャッシュフロー	<b>▲278</b>	<b>▲</b> 416
自己資本	<b>23,768</b>	—	<b>969</b>	1株当たり 当期純利益	<b>32円54銭</b>	<b>▲</b> 10円67銭	
総資産	<b>32,467</b>	—	<b>▲</b> 122	1株当たり 純資産	<b>1,642円43銭</b>	<b>66円45銭</b>	
設備投資額	<b>391</b>	—	<b>▲</b> 57	研究開発費	<b>169</b>	<b>30</b>	
減価償却額	<b>313</b>	—	<b>28</b>	E B I T D A (償却前営業利益)	<b>962</b>	<b>▲</b> 47	

※前年同期の営業外収益に、一時的要因として保険解約による受取保険金205百万円が含まれる。

# I-8 業績予想（連結）

ハミダセ、アマダセ。



（単位：百万円）

	20/10（実績）				21/10（予想）			
		上期	下期	通期		上期	下期	通期
	1Q				1Q(実績)			
売上高	7,225	14,150	13,080	27,231	6,317	13,960	14,040	28,000
連 営業利益	725 (10.0%)	1,421 (10.0%)	1,093 (8.4%)	2,515 (9.2%)	649 (10.3%)	1,380 (9.9%)	1,260 (9.0%)	2,640 (9.4%)
結 経常利益	930 (12.9%)	1,656 (11.7%)	1,183 (9.1%)	2,840 (10.4%)	680 (10.8%)	1,430 (10.2%)	1,310 (9.3%)	2,740 (9.8%)
親会社株主に帰属 する当期純利益	625 (8.7%)	1,139 (8.1%)	752 (5.8%)	1,891 (6.9%)	470 (7.5%)	960 (6.9%)	890 (6.3%)	1,850 (6.6%)
減価償却費	—	—	—	1,210	—	—	—	1,236
設備投資額	—	—	—	1,300	—	—	—	3,631

下段（ ）は利益率

# I -9 SDGs関連製品売上高（連結）

ハミダセ、アマダセ。

HAGIHARA  
萩原工業株式会社

（単位：百万円）

	20/10(実績)	21/10（予想）	
	通期	1Q（実績）	通期
気候変動適応力 （うち粘着テープ原反）	<b>3,867</b> <b>1,881</b>	<b>940</b> <b>490</b>	<b>4,006</b> <b>1,820</b>
働き方改革 （うちバルチップ）	<b>4,329</b> <b>3,429</b>	<b>1,001</b> <b>793</b>	<b>4,274</b> <b>3,349</b>
循環型社会づくり （うちリサイクル関連機器）	<b>944</b> <b>245</b>	<b>267</b> <b>8</b>	<b>756</b> <b>220</b>
産業と技術革新の基盤づくり	<b>2,964</b>	<b>407</b>	<b>3,328</b>
合計	<b>12,106</b>	<b>2,617</b>	<b>12,366</b>
構成比	<b>44.5%</b>	<b>41.4%</b>	<b>44.2%</b>

## 気候変動適応力への貢献



耐久性に優れた当社防災関連製品は、気候変動への適応力を高めることに貢献しています。

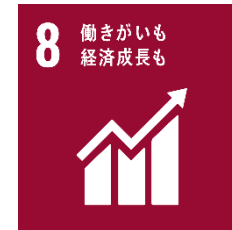


◆ 国産シート



◆ 粘着テープ<sup>®</sup>（当社の原反を使用）

## 働き方改革への貢献



当社製品は、まちづくりやインフラ整備での働き方改革を支えています。



◆ スーパーライト防災クロス



◆ バルチップ（無鉄筋土間工法）

## 循環型社会づくりへの貢献

12 つくる責任  
つかう責任



当社製品は、リサイクルの推進を通じて循環型社会づくりに貢献しています。



◆ エコマーク取得のブルーシート  
(再生原料使用率50%)

◆ 再生ペレット製造装置

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



## 産業と技術革新の基盤づくりへの貢献

当社製品は、素材加工の重要工程を担うことにより、産業と技術革新の基盤づくりに貢献しています。



◆ 光学系フィルムスリッター



## 循環型社会づくりへの貢献

12 つくる責任  
つかう責任

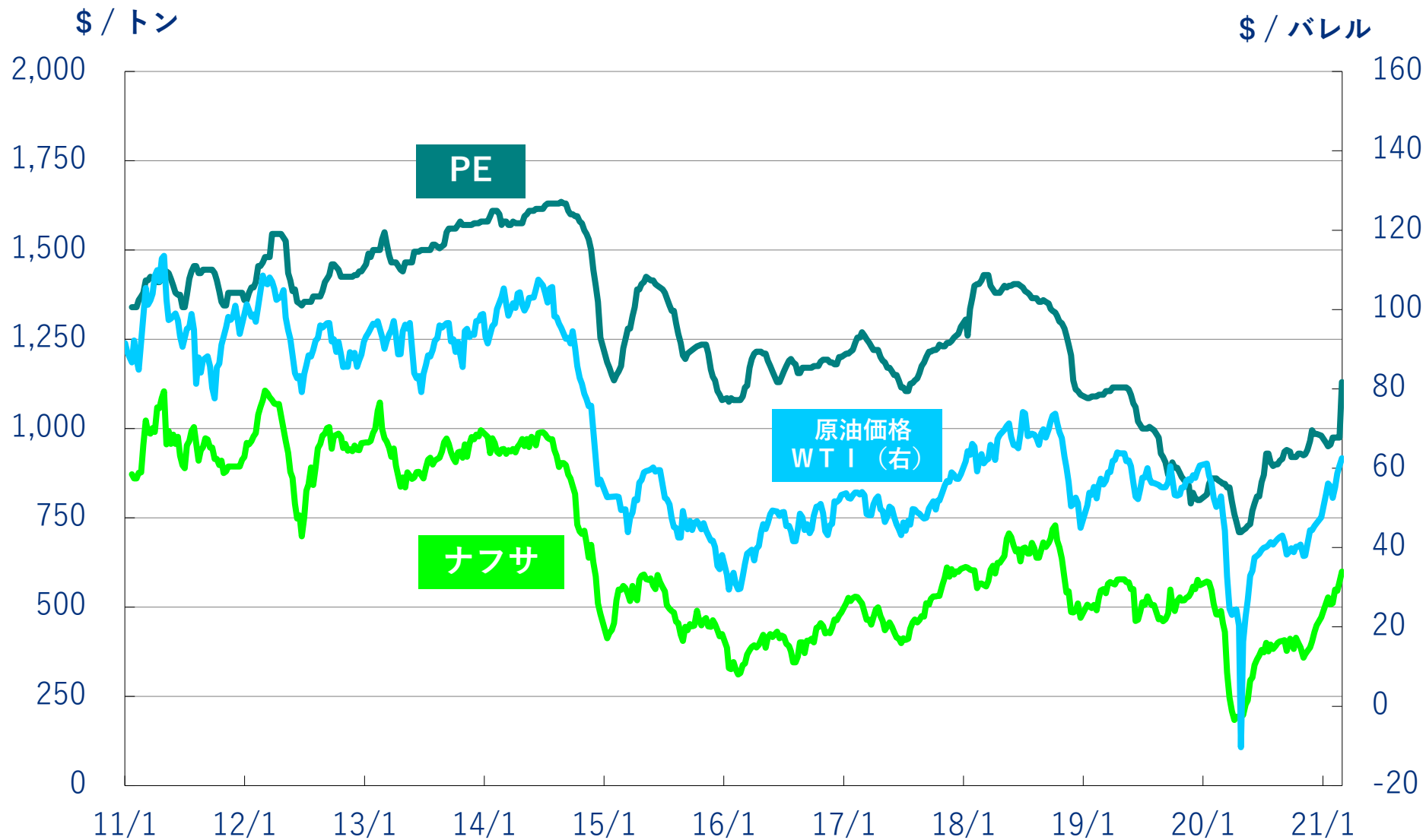


- ◆ J&T環境(株)と業務提携し、廃ブルーシートから再びブルーシートを製造するリサイクルの仕組み「Revalue+」の事業化を目指して取り組みを進めております。



(ホームセンターでの廃ブルーシート回収イベントの様子)

# II-1 原油/ナフサ/PE 価格推移



## II-2 主要株式指標の状況

	21/1末
株価	1,444円
配当額 (21/10末予想)	36円
配当性向	28.2%
B P S (1株当たり純資産額)	1,642円43銭
E P S (1株当たり純利益額)	32円54銭
P B R (株価純資産倍率)	0.87倍
P E R (株価収益率)	11.09倍
株主数 (20/10末)	16,239名

## 【資料についてのご注意】

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみにより全面的にご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等を行われぬようお願いいたします。